

学校教育目標 「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



常盤のみどり

第466号 令和4年 7月 1日(金)

さいたま市立常盤中学校

〒330-0075

さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

TEL 048-831-3189

FAX 048-830-1561

E-mail:tokiwa-j@saitama-city.ed.jp

SINCE 1947



教頭 風間 泰宏

感謝の伝え方



スロープと技術室の間に植えられたニチニチソウ。花言葉は「楽しい思い出」。6月の常中は思い出に残る行事でいっぱいでした。

梅雨明けとともに猛暑が続いています。涼を求めて家の前の道に水を撒いたものの、数分後には道が元どおりになって乾ききってしまいました。十分な水分補給と暑さ対策により、健康管理に努めていきたいものです。

6月22日の体育祭では、3年前から交流を続けてきた佐野市立常盤中学校の皆さんをお招きし、ともに汗を流すことができました。令和元年10月12日の台風で甚大な被害を受けた佐野市立常盤中学校を支援するために始まったのが交流の始まりでした。その後私たちは、オンラインでのつながりを保ちつつ、互いに「いつの日か会える日を」という思いをもち続け、当日を迎えました。

両校の生徒会は事前に打合せを行うなど、対面に向けて生徒が準備を進め、交流会「虹のプロジェクト」を実施することができました。佐野市立常盤中学校の校長先生の挨拶の中には、交流を続けてきたことへの感謝の気持ちが込められていました。私にはその言葉から、校長先生の強い感謝の思いが感じられました。

感謝の気持ちの伝え方は人それぞれかもしれませんが、方法よりも大切なのは、「相手にその気持ちが伝わるかどうか」ではないでしょうか。

ところで、ある学級の給食の食器かごに、感謝の気持ちが書かれたメモが載せられて、ワゴンプールに戻されたことがありました。「いつもおいしい給食をありがとう」この短い言葉の中に込められた思いが伝わり、メモを読んだ栄養教諭や調理員さんたちは感激したそうです。

5月に実施した学校運営協議会では、「コミュニケーション能力の育成」を目的とし、本年度は「あいさつ」をテーマに取り組んでいます。私は、「あいさつ」とともに「感謝の気持ちを伝えること」も人間関係を豊かにする要素の一つと考えております。直接的な言語でのコミュニケーションに加え、SNSやメールなどの短い文章でのやりとりにも思いを込めて、普段から感謝の気持ちを伝え、互いに支え合えるような素敵な人間関係を築いていきたいものです。

「昨日は手伝ってくれてありがとう」「朝ごはんを作ってくれてありがとう」「重たい荷物を持っている様子を見てエレベーターを開けてくれてありがとう」... 学校、家庭、地域が一丸となって感謝の気持ちを伝えあう、常盤中学校区はそんな地域であってほしいものです。